

平成31年(令和元年)度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

呉中央中学校区 校番13 呉中央中学校

a 学校教育目標	「自分」を育てる	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 小中一貫教育を通して、生涯を自ら豊かに学び続け、自他を大切に主体的に生ききる根っこを育てる。 <ビジョン>(将来の学校像) 「自ら学ぶ力が育つ環境を創り、育成すべき資質・能力が身につく学校」
----------	----------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	日常的に小中学校の教職員が緊密な連携を図り、様々な教育活動を進め効果を上げている。今年度は、呉市小中一貫教育研究指定校の研究公開を控え、新学習指導要領や広島県「学びの変革アクション・プラン」の主旨を踏まえた授業改善を加速させていく必要がある。そのためには、学園研究推進体制を確立し、教職員一人一人のスキルアップを図る必要がある。また、中学校独自の研修推進体制を確立させ、小学校と共に「他者と協働し、「知識・技能」「思考力」「表現力」「主体性」を育む小中一貫教育」を進め、新たな学園文化の創造に努めていく。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能、思考力、表現力、主体性
-------------	-------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(9)月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	① 生ききる根っこを育てる「豊かな学び」の創造	生徒が主体的に学び、思考力を育む授業改善を進める。 (業績評価・教務)	学園授業スタイルに基づく授業改善を進め、主体的・対話的で深い学びを実現する。	「授業がわかる生徒」の割合	80%	88%	110%	A	88%	110%	A
個別支援プログラムを作成し、組織的に取組む。 (業績評価・学年)		授業における個別支援プログラムを確立し、補充学習・質問教室・本気塾を進める。	学力調査・定期試験(国・数・英)における通過率30%未満の生徒の割合	5% (95%)	10% (90%)	95%	B	11.8% (88.2%)	92.8%	B	
家庭学習と授業との関わりを強め、自学自習のできる生徒の育成 (教務・学年)		授業と関わりのある課題を設定し、「呉中央中学校スタンダード」を活用して、家庭学習の定着を図る。	各学年の目標時間の達成率の割合	90%	67%	74%	C	67%	74%	C	
**	② 生ききる根っこを育てる「豊かな生き方」の創造	生徒の『心の居場所』がある学校づくりの推進 (学年・生徒指導)	生徒指導の三機能を活かした集団づくりを進め、望ましい人間関係をつくり、生徒の自尊感情を高める。	自尊感情に関するアンケートの肯定的評価	80%	86%	108%	A	83%	104%	A
道徳教育の改善・充実を図り、自他のいのちを大切に育てる生徒の育成。 (教務・学年)		呉中央中学校の「話し合いのススメ」を活用し、「考え、議論する道徳」を目指して授業改善を進める。	『道徳の時間は役に立つ』と思う生徒の割合	80%	89%	111%	A	87%	109%	A	
*	③ 生ききる根っこを育てる「しなやかな体」の育成	施設一体型小中一貫教育の強みを活かし、運動的諸活動の充実を図る。 (体育科)	小中連携を強化し、重点項目を設定し、9年間を見通した取組みを推進する。	新体力テストの結果、昨年度比で向上する生徒の割合(8年生対象)男子80%以上、女子40%以上)	80%	50m 92.6% S-run 78.6% (85.6%) 50m 76.1% S-run 72.4% (74.4%)	107%	A	50m 100% S-run 90.5% 男子 (95.6%) 50m 81.0% S-run 80.0% 女子 (80.5%)	120%	A
家庭と連携を強化し、協働で生徒の成長を扶ける環境をつくる。 (学年・生徒指導)		三点固定(早寝・早起き・家庭学習)やメディアコントロールなどに取組み、生徒の基本的な生活習慣を確立させる。	基本的な生活習慣(遅刻)が守れる生徒の割合	40%	90%	98.7%	110%	A	98.6%	110%	A
生徒と向き合う時間を確保する。		効率的・効果的な会議を設定し、勤務時間内に終了する。	生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80%	40%	50%	D	37%	47%	D	
④ 業務改善を進め、元気で明るい職場を実現する	時間外勤務の縮減を図る。	部活動規定の厳守と定時退校を励行する。	時間外勤務が月80時間を超える教職員の数	0人 (100%)	4人 (82%)	82%	B	3人 (86%)	86%	B	

【k: 評価】  
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100  
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60